



新発田市立東中学校だより

教育目標「進んではげむ、心ゆたかな生徒」

令和4年10月18日

第11号

☎ 0254-22-3824

📠 0254-26-3543

未来を拓く力 その2

緊張したけど、研究の成果が伝えられてよかった。

緊張したけど、本番で質疑応答がしっかりできてよかった。

些細なことから見つけた不思議が実験等を通してわかって嬉しい。

校長 森谷 優子

人前で話すのは得意ではないけど、本番では練習した成果を発揮できた。

自分の調べたことを伝えられたし、複数の人の前で話すよい経験になった。



「リンゴの変色を押さえるためには」「溶けにくい氷を作るには」「野菜の密度はどれが大きい」「泥水をろ過してみよう」「液体の体積を量る」

9月29日（木）市生涯学習センターで新発田・聖籠科学研究発表会が行われ、当校からは5人の生徒が参加しました。5人とも堂々としたすばらしい発表でした。感心したのは、研究テーマです。全員が、身近な日常から、問いを設定しており、「これは当たり前」としてスルーするのではなく、「なぜだろう？」と問いをもつことができていることがすばらしいと感じました。審査の結果、「中学校物理・化学の部」で関崎紬さんが、第58回新潟県児童生徒科学研究発表会（いきいきわくわく科学賞2022）に推薦されました。体育館へ続く廊下には1年生の夏休みの科学研究、科学工作・模型がたくさん展示されています。これらの作品をみると、科学への探究が、代表の5人だけでなくクラス全員にあると感じます。日頃の豊かな授業によるものでしょうか。

現在、魔改造中

次の作品のテーマは新発田



また、さんの「手回しオルガン」は、第84回新潟県発明工夫展・第69回新潟県模型展へ、さんの食品サンプル「今日はかつ丼できまり」は、新発田・聖籠の発明・模型・標本展へ出品しました。さんは、自分のイメージを図面にし、作品を制作した力作です。渡邊さんのサンプルも細かいところまで本当によくできており、通る人たちが見入っていました。二人に話を聞いたところ、作品の改善点を生かしてすでに次の回の構想に入っているようでした。

NHKの番組「チョコちゃんに叱られる」を見ていると、いかに日頃自分が「これは当たり前」と捉え、考えないことが多いか思い知らされます。小中学生の頃から、「なぜだろう？」という問いをもつ力は、この先、大切な資質・能力なのです。

3年生の全国学力・学習状況調査の結果から

1 当校の平均正答率

- ＜国語＞ 県平均と比較して上回っており、全国平均と比較して同等である。
- ＜数学＞ 県平均、全国平均と比較して下回っている。
- ＜理科＞ 県平均、全国平均と比較して上回っている。

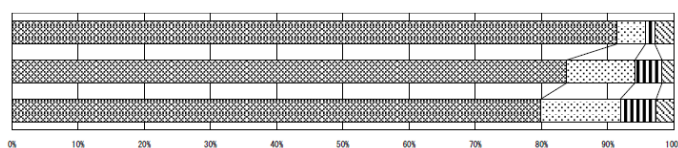
2 生徒質問紙から

上段…東中、中段…新潟県（公立）、下段…全国（公立）

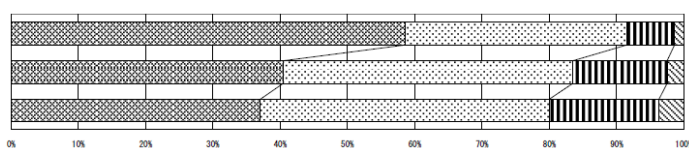
グラフ左より①している②どちらかといえばしている③あまりしていない④全くしていない

(1) 基本的生活習慣等

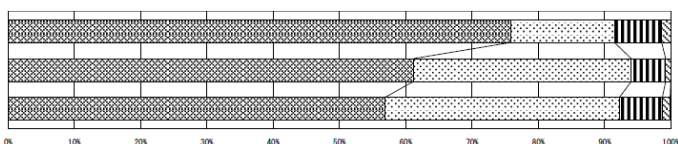
「朝食を毎日食べている」



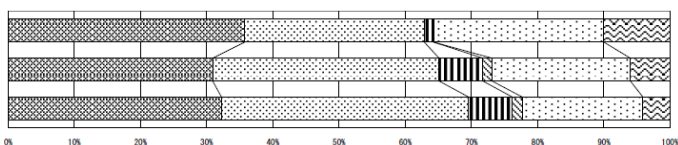
「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」



「毎日、同じくらいの時刻に起きている」



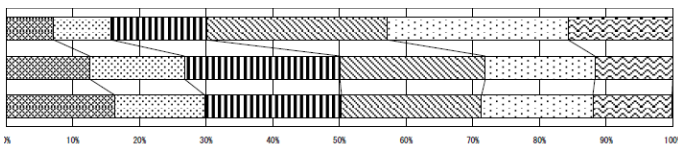
「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っているか」



グラフ左より

1. きちんと守っている
2. だいたい守っている
3. あまり守っていない
4. 守っていない
5. 携帯電話・スマートフォンやコンピュータは持っているが、約束はない
6. 携帯電話・スマートフォンやコンピュータを持っていない

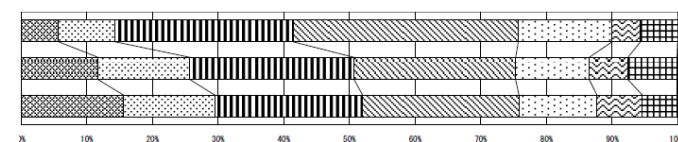
「普段（月曜日から金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、テレビゲーム（PC、スマートフォン等）をするか」



グラフ左より

1. 4時間以上
2. 3時間以上、4時間より少ない
3. 2時間以上、3時間より少ない
4. 1時間以上、2時間より少ない
5. 1時間より少ない
6. 全くしない

「普段（月曜日から金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、SNSや動画視聴をするか」

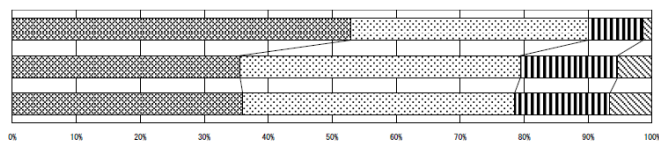


グラフ左より

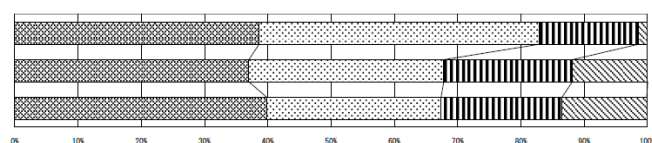
1. 4時間以上
2. 3時間以上、4時間より少ない
3. 2時間以上、3時間より少ない
4. 1時間以上、2時間より少ない
5. 30分以上、1時間より少ない
6. 30分より少ない
7. 携帯電話やスマホを持っていない

(2) 挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等

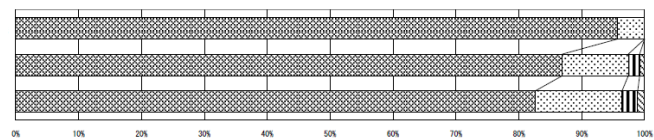
「自分にはよいところがあると思う」



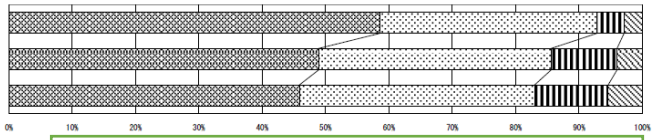
「将来の夢や目標をもっている」



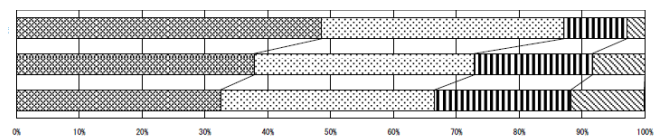
「いじめは、どんな理由があってもいけないことだ」



「学校に行くのは楽しい」



「困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にそうだんできるか」

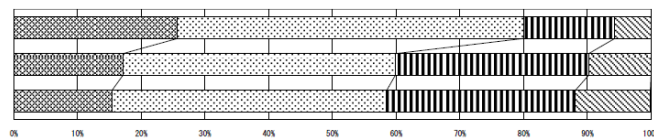


グラフ左より

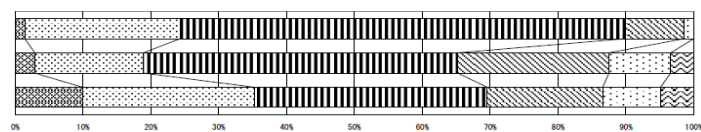
1. 3 時間以上
2. 2 時間以上, 3 時間より少ない
3. 1 時間以上, 2 時間より少ない
4. 30 分以上, 1 時間より少ない
5. 30 分より少ない 6. 全くしない

(3) 学習習慣、学習環境

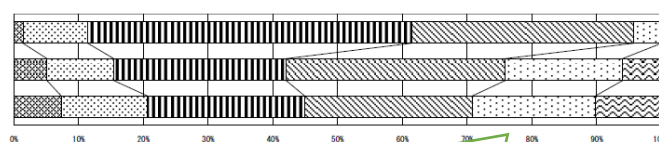
「家で自分で計画を立てて勉強している」



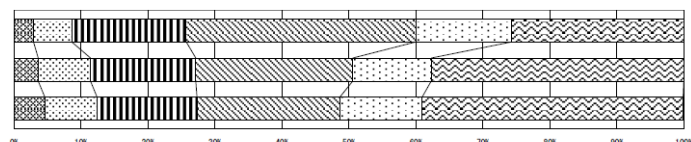
「学校の授業時間以外に、普段（月曜日～金曜日）、1 日あたりどのくらいの時間、勉強をするか」



「土日など学校が休みの日に 1 日あたりどのくらいの時間、勉強をするか」



「学校の授業時間以外に、普段（月曜日～金曜日）1 日あたりどのくらいの時間、読書をするか」



グラフ左より

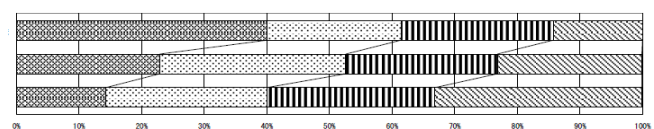
1. 4 時間以上
2. 3 時間以上, 4 時間より少ない
3. 2 時間以上, 3 時間より少ない
4. 1 時間以上, 2 時間より少ない
5. 1 時間より少ない 6. 全くしない

グラフ左より

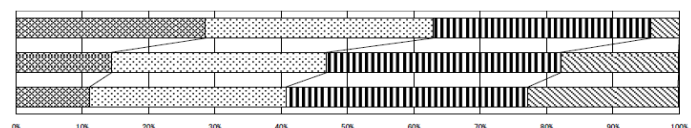
1. 2 時間以上
2. 1 時間以上, 2 時間より少ない
3. 30 分以上, 1 時間より少ない
4. 10 分以上, 30 分より少ない
5. 10 分より少ない 6. 全くしない

(4) 地域社会に関わる活動

「住んでいる地域の行事に参加している」

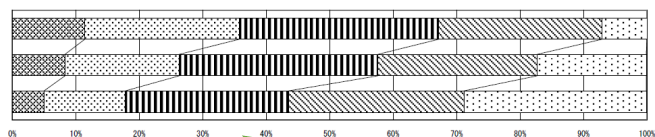


「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」



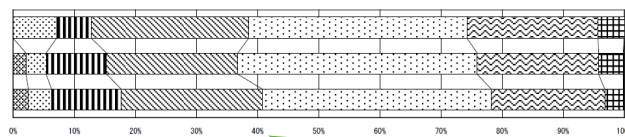
(5) ICTを活用した学習状況

「学校で、学級の生徒と意見を交換する場面で、ICT機器を、どの程度使っているか」



グラフ左より
1. ほぼ毎日
2. 週3回以上
3. 週1回以上
4. 月1回以上
5. 月1回未満

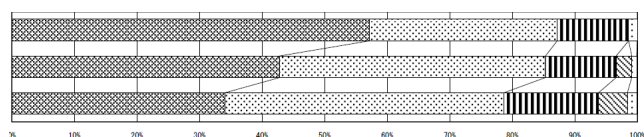
「普段（月から金曜）、1日どれくらいの時間、ICT機器を勉強のために使っているか」



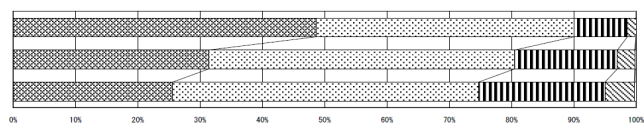
グラフ左より
1. 3時間以上
2. 2時間以上、3時間より少ない
3. 1時間以上、2時間より少ない
4. 30分以上、1時間より少ない
5. 30分より少ない
6. 全く使っていない
7. ICT機器を持ってない

(6) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況

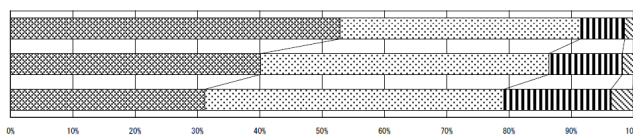
「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができた」



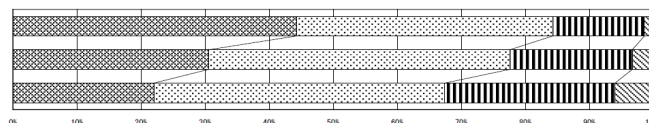
「学習した内容について、分かった点や、よく分からない点を見直し、次の学習につなげていた」



「課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」

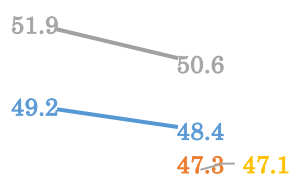


「これまで各教科で学んだことを生かして自分の考えをまとめる活動をした」

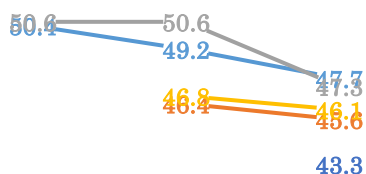


NRT (全国標準学力検査) の結果

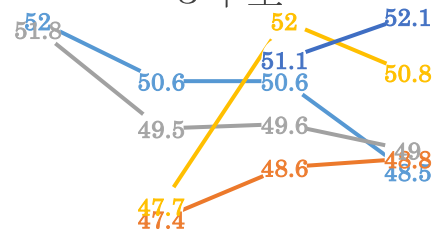
1年生



2年生



3年生



小6

中1

小6

中1

中2

小6

中1

中2

中3

— 国語 — 社会 — 数学 — 理科 — 英語

数値はその学年の教科の偏差値平均です。偏差値とは集団の中の自分の位置で、平均点が偏差値50になるように変換しています。上記の数値と日常の様々な様子、ロジックをもとに、
(1) 教科部としての授業改善 (2) 東中学校全体の取組 (3) 小中連携の視点 を振り返って、次年度につなげ、子どもたちを今よりも伸ばしていきたいと考えております。